



2024年5月15日

各位

会社名 クラスターテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 安達 良紀
(グロス・コード番号4240)
問合せ先 取締役管理本部長 駒井 幸三
(TEL : 06-6726-2711)

2024年3月期 通期個別業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期通期個別業績予想と本日発表の実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

2024年3月期通期個別業績予想と実績との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,032	百万円 65	百万円 66	百万円 55	円 銭 9.73
実績 (B)	918	68	70	57	10.08
増減額 (B-A)	△ 113	3	4	1	
増減率 (%)	△ 11.0	6.0	6.1	3.5	
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	925	72	74	59	10.42

<業績予想と実績との差異の理由>

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業については、2024年3月期に予定しておりました新規受注品の量産移行が次年度以降にずれ込んだことや弱い中国経済の影響を受け、一部顧客からの大幅な受注減に見舞われました。同関連事業の分野別では、映像機器分野及びレジャー分野の売上高は増加したものの、OA機器分野や産業機器分野の売上高は予想を下回りました。その結果、同関連事業の売上高は、予想に比べ130百万円減少いたしました。

一方マクロ・テクノロジー関連事業については、国内の積極的な設備投資やバブル期からの受電設備のリニューアル需要もあり、樹脂成形品、樹脂成形材料とも予想以上に好調に推移し、売上高は予想に比べ10百万円増加しました。またその他事業の売上高も予想より上回りました。

以上の結果、ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業の売上高の減少を他の関連事業等の売上高の増加でカバーできず、前回発表予想から113百万円減少しました。

利益面においては、売上高は予想に比べ減少しましたが、原材料価格や電気料金等の上昇の落ち着き、製造経費が抑えられたことに加え、マクロ・テクノロジー関連事業の生産増加により、ほぼ予想通りとなりました。

以上